

やまなし健康寿命延伸新戦略

～ 健康寿命日本一やまなしの更なる充実 ～

<現状と課題>

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 団塊の世代が後期高齢者となる超高齢化社会（2025年問題）が到来する。
<small>在宅療養支援診療所数 山梨県7.3/10万人 全国10.8/10万人(県H28.2.1国への届出数 国H24.7.1厚生労働省保険局医療課調べ)</small> ② 食塩摂取量（1人あたり）は全国平均を上回り、運動習慣のない県民も増加している。
<small>食塩摂取量 山梨県10.5g 全国10.0g(県H26県民栄養調査 国H27国民健康栄養調査)</small> ③ 出生率の低下や、共働き世帯の増加が見込まれる。
<small>合計特殊出生率 山梨県1.51 全国1.44(H28人口動態統計年鑑(概数))</small> ④ 高齢化の進展に伴い、在宅ひとり暮らし高齢者や認知症患者の増加が見込まれる。
<small>高齢化率(65才以上) 山梨県28.8% 全国27.5% (県H29.4.1高齢者福祉基礎調査 国H29.4.1人口推計(概算値))</small> ⑤ 障害者に対する偏見や社会的障壁が、依然として見受けられる。
<small>障害者手帳交付人数 山梨県49,089人 全国706.6万人 (県H28.3.31現在 国H27年度福祉行政報告例・衛生行政報告例)</small> | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 必要な医療・介護サービスを確保していく必要がある ⇒ 生活習慣病等の予防に向けた取り組みを推進していく必要がある ⇒ 安心して子どもを産み・育てられる環境整備を進めていく必要がある ⇒ 地域包括ケアシステム等の更なる推進が必要である ⇒ 障害者が自己実現をできる社会づくりを進めていく必要がある |
|---|---|

健康寿命延伸に係る13の個別計画が各分野において目指す姿を明らかにし、相互に連携した総合的なビジョン

☆ 保健・医療・介護の連携と充実などによる、健康寿命の延伸

☆ 子どもから高齢者まで、障害の有無による分け隔てがなく、すべての県民が健やかで生き生きと暮らせる社会の実現

保健・医療・介護が連携かつ充実し、
県民が生涯にわたって健やかで生き生きと暮らせる社会

保 健	①健やか山梨21(中間評価)	医 療	⑤山梨県国民健康保険運営方針
	②山梨県口腔の健康づくり推進計画(中間評価)		⑥山梨県地域保健医療計画
	③感染症予防計画		⑦山梨県医療費適正化計画
	④山梨県自殺対策推進計画(中間見直し)		⑧山梨県がん対策推進計画

介護 ⑩健康長寿やまなしプラン(再掲)

子どもの最善の利益が実現される子育てを
笑顔で応援する社会

- ⑨やまなし子ども・子育て支援プラン(中間見直し)
- ⑫やまなし障害児・障害者プラン2018(再掲)

高齢者が住み慣れた地域で自立し、
日常生活を営める社会

- ⑩健康長寿やまなしプラン
- ⑪山梨県認知症対策推進計画

障害がある人もない人もみんなが幸せに暮らせる社会

- ⑫やまなし障害児・障害者プラン2018
- ⑬山梨県障害者工賃向上支援計画

平成29年度に策定・見直しを進めた13の個別計画

保健・医療・介護に関する計画

子ども・子育てに関する計画

	計画名称	計画期間	計画の趣旨及び策定のポイント
保健 (健康づくり・心の健康)	①健やか山梨21 (中間評価)	H25～34 (10年)	いきいきと健やかに暮らせる社会を実現することを目的に、健康寿命の延伸・市町村間の健康格差の縮小を目指す ◎今後 重点的に取り組むべき課題の抽出とその対策
	②山梨県口腔の健康づくり推進計画 (中間評価)	H26～34 (9年)	口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小を図り、健やかな生活ができる社会の実現を目指す ◎医科・歯科連携の更なる推進 ◎口腔機能の維持・向上の推進
	③感染症予防計画	H11～ (期間の定めなし)	国の感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針に基づき、感染症に係る総合的な施策を推進し、感染症の発生やまん延の防止に取り組む ◎新型インフルエンザ等感染症対策等の追加
	④山梨県自殺対策推進計画 (中間見直し)	H28～31 (4年)	国の自殺総合対策大綱に掲げる当面の重点施策及び具体的な数値目標を勘案し、取組を充実・強化することで、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す ◎県民一人ひとりの気づきと見守りを促進
医療	⑤山梨県国民健康保険運営方針	H30～ (3年毎に見直し)	平成30年度から県と市町村が一体となって、国民健康保険の保険者の事務を共通認識の下で実施するとともに、市町村の事務の広域化や効率化を推進する ◎市町村における保険料の算定方式等の平準化を進め、将来的に保険料率を一本化 ◎県は市町村とともに特定健診の受診率向上や後発医薬品の使用促進等について取り組み、医療費適正化を推進
	⑥山梨県地域保健医療計画	H30～35 (6年)	県民すべてが、生涯にわたって健やかで安心して暮らしていくことができる社会の構築のため、地域保健医療の総合的な体制整備に取り組む ◎地域医療構想を踏まえた病床機能の分化・連携 ◎医療と介護の連携による地域包括ケア・在宅医療の充実 ◎5疾病(がん、脳卒中等)、5事業(救急、災害等)に関する体制の強化 ◎高齢化により増加する疾患(ロコモティブシンドローム、フレイル等)及びアレルギー疾患に関する体制の強化 ◎医師など医療従事者の確保の推進
	⑦山梨県医療費適正化計画	H30～35 (6年)	医療制度を持続可能なものとするため、県民の健康の保持・増進を図るとともに、医療の効率化を進め、医療費の適正化に取り組む ◎重症化を含めた生活習慣病の予防の推進 ◎病床機能の分化・連携と地域包括ケアシステム構築の推進 ◎後発医薬品の使用促進及び医薬品の適正利用の推進
	⑧山梨県がん対策推進計画	H30～35 (6年)	がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指すとともに、がんになっても安心して暮らせる社会の構築を推進する ◎科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ◎患者本位のがんの医療の実現 ◎尊厳を持って安心してらせる社会の構築
介護	⑩健康長寿やまなしプラン (再掲)	H30～32 (3年)	高齢者が、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を更に深化・推進する ◎高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進 ◎介護人材の確保・定着と資質向上

計画名称	計画期間	計画の趣旨及び策定のポイント
⑨やまなし子ども・子育て支援プラン (中間見直し)	H27～31 (5年)	子どもの最善の利益が実現され、笑顔の子育てを笑顔で応援する社会の構築を目指す ◎保育所利用児童数の増加を踏まえた保育の量の見込み・確保方策 ◎やまなし子ども・子育て支援条例制定に伴う計画の見直し(自然体験活動の推進、災害時の子育て支援など)
⑫やまなし障害児・障害者プラン2018 (再掲)	H30～32 (3年)	県民誰もが、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、総合的かつ計画的な障害児・障害者施策を展開する ◎障害児や医療的ケア児に対する支援を充実

高齢者に関する計画

計画名称	計画期間	計画の趣旨及び策定のポイント
⑩健康長寿やまなしプラン	H30～32 (3年)	高齢者が、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を更に深化・推進する ◎高齢者の自立支援、介護予防・重度化防止の推進 ◎介護人材の確保・定着と資質向上
⑪山梨県認知症対策推進計画	H30～32 (3年)	県全体で認知症の人とその家族を支える体制を推進するとともに、認知症になっても安心して暮らし続けられる社会の実現を目指す ◎認知症の本人人やその家族の視点を重視した支援体制の構築 ◎認知症の正しい理解の普及と県民総サポーターの推進

障害児(者)に関する計画

計画名称	計画期間	計画の趣旨及び策定のポイント
⑫やまなし障害児・障害者プラン2018	H30～32 (3年)	県民誰もが、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、総合的かつ計画的な障害児・障害者施策を展開する ◎障害のある人にライフステージを通じ、切れ目のないきめ細かな支援
⑬山梨県障害者工賃向上支援計画	H30～32 (3年)	障害者が、地域で自立した生活を送るためには、経済的基盤を支える必要があることから、事業所、県、市町村、企業等が一体となって障害のある方の工賃向上を目指す ◎工賃と年金収入を合わせ、経済的に自立できる水準を確保